



# ふたばっこだよい

2022年11月8日  
No.15

## 4日に、「スエTの科学の時間」がありました！

～“家にある物”でできる科学実験～

今月のスエTはオレンジのキャップのついた茶色のボトルを持って現れました。「こんなのお家にある？」の問いかけに「たこ焼きのソースや!!」の声もありましたが、その正体は”うがい薬“でした。これは”ヨウ素液“という薬でできていますが、これを身近にあるさまざまな食べ物にかけるとどうなるのか”実験“をしました。



今日はみんなで実験をしてみたいと思います



みんなのお家にこんなのあるかな…？



これは何でしょう…？



うがい薬を…



水で薄めます

うがい薬を“プラスチック製のデザートスプーン”で測り“空き瓶”の中に入れます。さらに同じように水も10杯測って10倍に薄めます。

“玉子の空き容器”にサツマイモ・ジャガイモ・ごはん・パン・お好み焼き粉・たこ焼き粉・小麦粉・うどん・片栗粉・米を入れて、“魚の形をしたプラスチックの醤油さし”でうがい薬をかけました。すると、どれも茶色だったうがい薬が紫色になりました。



これは、どれにも“デンプン”という物質が含まれていて、それに反応して色が変わるというお話でした。“デンプン”はみんなの身体の中に入ると、お腹が膨れて（エネルギーになって）元気が出るということでした。

他にも塩・砂糖・大根・バナナ・ソーセージ※・豆腐・柿にもかけてみましたが、反応は見られませんでした（※ただし、ソーセージにはデンプン質が含まれるようで若干変色しました）。

うがい薬による反応がよりハッキリわかるように、包丁で小さく刻んだりしましたが、「包丁を持っていない方の手は“ネコの手”にしてケガをしないように気をつけて、お家でも実験してみてくださいね…。」というお話でした。



### ふたばっこだよいのバックナンバーを

### カラーで読むことができます

右のQRコードを読み取るとふたば園のホームページに入れます

